



ひとつぶの種

杭州日本人学校
学校便第 107 号
平成 29 年 3 月号

『ご卒業 おめでとう。継続は力なり。』

保護者の皆様、2月25日(土)の授業参観、PTA年度末総会、バス会総会にご参加いただき、誠にありがとうございました。

総会等において、平成29年度PTA新役員等の選任が行われました。平成28年度河村PTA会長様をはじめバス会やランチ委員の皆様には、この1年間たいへんお世話になりました。今まで、杭州っ子たちのために貴重な時間を割いて活動していただきましたことに対しまして、心よりお礼申し上げます。

また、この総会で選出されました平成29年度PTA会長ならびに役員の皆様には、4月から1年間たいへんお世話になります。どうぞ、よろしくお願いいたします。長い春節休みも終わり、2月6日から杭州っ子たちは、1年間の学習・生活面でのまとめ段階に入りました。4月に決めた学級目標を思い出し、個人目標を達成できたのか、努力すべき点はなかったかなど振り返る期間です。2月末から3月にかけて卒業式で歌う歌や式練習が始まりました。在校生たちは、卒業するお姉さんたちへの感謝の気持ちを込めて、練習に励んでいます。これから、「卒業証書授与式」(11日)に向けて、本格的な式練習に取り組みます。



今年度は、中学部9年生が在籍しないので、小学部6年生5名が本校から巣立ちます。杭州日本人学校の『ファースト・ペンギン』(学校便り84号参照)たちは、それぞれ自分が選んだ進路に向かって大きく羽ばたいていきます。この杭州の地で、「ひとつぶの種」のように結んだ友情の絆をさらに深め、大地に根を張り、幹を太らせ、葉を茂らせることでしょう。**教育は「継続は力なり」です。**毎日の学習で身に付けた基礎・基本の力をさらに伸ばし、共に生きる力を育み、すばらしい成果を出すために、友情と絆が必要になります。何事も継続しなければ、力になりません。夢は実現しません。自分の目標に向かって、決してあきらめず常に挑戦し続けることが「継続は力なり」といえます。校訓である『切磋琢磨』という言葉は、「人は学問や精神と人格を磨きながら互いに高め合っていくことが子どもの成長につながる」という意味があります。大人も同じように、自分の心も磨かなければなりません。本校の特徴は、「上級生が下級生のお世話をする。先輩が後輩を助ける。みんなで楽しい家族のような学校を作りあげる。」という点にあります。「卒業証書授与式」では、在校生はじめ全教職員も保護者の皆様とともにあたたかく卒業生を見送りたいです。3月末で平成28年度も終わりますが、昨年度始めから1年間、河村PTA会長ならびに役員、保護者の皆様のご理解とご協力をいただきましたことに厚く感謝いたします。



～帰国される教職員の紹介～

今年度ももちまして、5名の教員が帰国することになりました。これまで深いご理解とご支援をいただきました保護者の皆様に心よりお礼申し上げます。

校長 宮田 正彦（兵庫県） 教諭 濱口 怜子（三重県） 教諭 竹内 治代（高知県）
教諭 松居 康彦（大阪府） 教諭 関 二美（神奈川県）